

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34

京都橘女子大学図書館 田北十生気付

(Tel) 075-574-4118

(Fax) 075-574-4124

大図研京都支部主催 (再録)

NEWS

大図研3月例会のお知らせ

インターネットの急速な普及、進行するアウトソーシング等々、図書館をめぐる状況は私たちの予想をはるかにこえて変化しています。大図研京都支部では昨年より例会を再開していますが、取り上げねばならないテーマには事欠きません。そこで今年最初の例会では研究者の立場からみたこれからの図書館を考えてみたいと思います。

年度末で何かとご多忙とは思いますが、ぜひご参加ください。

日 時： 3月6日(土) 午後1時～

会 場： 京大会館、2F 211号室

参加費： ドリンク付きで 一人 500円

テーマおよび講師

「アジア太平洋時代と図書館」(仮題) / 堀田牧太郎氏

(立命館大学国際関係学部教授)

【*準備の都合がありますので、参加希望者は3月3日お雛様の日までにメール(下記)又は電話で最寄りの支部委員に申し込んで下さい。】

<内容>

(1)アジア太平洋時代とは何か(情報格差と図書館業務)

(2)アジア太平洋地域と図書館(インターネット、電子メールの活用と図書館情報)

(3)有料データベースの活用と図書館業務(学生・院生支援制度との関連で、研究支援との関連で)

(4)アジア太平洋を展望した図書館と情報ネットワーク(アジア太平洋大学協会、アジア太平洋大学稼働性(UMAP)計画、その他)

目	大図研3月例会のお知らせ……………1頁
	支部報復刻版(製本)の発刊についてお知らせとお願い……………2頁
	第6回支部委員会の報告……………4頁
次	連載小説(15)リュウ……………5頁
	数珠つなぎ(35)……………6頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで
編集気付(kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp) 田北まで

大学図書館問題研究会 30周年記念
支部報復刻版（製本）の発刊について
お知らせとお願い

大図研30周年を記念して、京都支部報復刻版を作成し、今年中に会員のみなさんに配布したいと考えています。

復刻される支部報は創刊号（No 1）～No 150号とします。

創刊号は、1978年10月28日に発行されています。以後、No150号の発行（1997年8月15日）まで、約20年が経過しています。

初期の支部報はガリ版刷りです。従って、復刻版は写真製版で当時の支部報の姿そのままを復刻したいと思います。

しかし、20年の歳月が過ぎ、現物が編集部の手元にあるのは一部です。初期のものは、コピーです。

従って、編集部としては、会員のみなさんが保存されている支部報を、これを機にもう一度整理していただき、復刻版作成のためにご寄贈、又は一時貸し出ししていただきたいと思ひます。

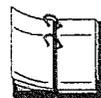
下記一覧表をご覧ください、該当の支部報を所蔵されています方は、最寄りの支部委員へ当該支部報を「寄贈」又は「貸出」いずれかの意志表示をして、渡して下さい。また、直接郵送される場合は、編集責任者 田北までご送付をお願いします。

みんなの協力で、素晴らしい「支部報復刻版」を発行し、大図研京都支部の活動を振り返り、歴史の一コマを後世に伝え、残しましょう。

また、このことは、会員のみなさんの個人史のひとつコマでもあります。

「大図研 京都支部報」編集部所蔵の現状（1999/02/15現在）

巻号	発行日	現物様態	現物要否	巻号	発行日	現物様態	現物要否
1	1978/10/28	有		21	1982/06/25	○有	
2	1978/11/13	有		22	1982/09/01	有	
3	1979/01/10	有		23	1982/10/01	コピー	要
4	1979/05/02	コピー	要	24	1983/06/01	有	
5	1979/10/15	有		25	1983/08/01	有	
6	1979/12/22	コピー	要	26	1983/09/01	有	
7	1980/	有		27	1983/10/01	有	
8	1980/10/07	有		28	1983/12/01	有	
9	1980/11/05	有		29	1984/01/01	有	
10	1980/12/11	有		30	1984/02/15	有	
11	1981/02/16	有		31	1984/03/15	有	
12	不明	なし	要	32	1984/06/01	コピー	要
13	1981/06/12	有		33	1984/07/01	コピー	要
14	1981/08/	有		34	1984/10/01	コピー	要
15	1981/10/	コピー	要	35	1985/02/01	コピー	要
16	1981/12/	有		36	1985/08/15	コピー	要
17	1982/01/	有		37	1985/09/15	コピー	要
18	1982/02/20	有		38	1985/11/01	なし	要
19	1982/04/02	○有		39	1985/12/01	コピー	要
20	1982/05/01	○有		40	不明	なし	要



次ページへ

(注-1) 「現物様態」欄で●又は○が付いているのは京都橘女子大学図書館所蔵の支部報です。●印は蔵書印が押印されているもの、○は蔵書印なしの支部報です。

(注-2) 「現物様態」欄で「コピー」と書かれている支部報はコピーしかないという意味です。コピーですので写りが悪く読めない所もありますので、可能な限り現物が欲しいと思っています。

巻号	発行日	現物様態	現物要否	巻号	発行日	現物様態	現物要否
41	1986/10/15	コピー	要	96	1993/01/12	●有	要
42	1987/03/01	なし	要	97	1993/02/25	なし	要
43	1987/04/15	○有		98	1993/03/16	●有	要
44	1987/08/01	コピー	要	99	1993/04/12	●有	要
45	1987/10/15	コピー	要	100	1993/05/30	○有	
46	1988/03/01	なし	要	101	1993/06/20	○有	
47	1988/04/01	コピー	要	102	1993/07/15	なし	要
48	1988/05/01	コピー	要	103	1993/08/31	○有	
49	1988/06/15	コピー	要	104	1993/09/20	なし	要
50	1988/07/15	なし	要	105	1993/10/20	●有	要
51	1988/08/15	○有		106	1993/11/10	●有	要
52	1988/09/15	○有		107	1993/12/10	●有	要
53	1989/03/15	有		108	1994/01/10	●有	要
54	1989/04/15	○有		109	1994/02/17	○有	
55	1989/05/15	○有		110	1994/03/30	○有	
56	1989/06/15	○有		111	1994/04/20	○有	
57	1989/07/15	○有		112	1994/05/25	○有	
58	1989/09/25	コピー	要	113	1994/06/10	○有	
59	1989/10/01	○有		114	1994/07/05	○有	
60	1989/11/15	○有		115	1994/08/30	●有	要
61	1989/12/15	なし	要	116	1994/09/30	○有	
62	1990/01/15	なし	要	117	1994/10/15	○有	
63	1990/02/15	有		118	1994/12/15	●有	要
64	1990/04/01	なし	要	119	1995/01/10	○有	
65	1990/05/15	●有		120	1995/02/10	○有	
66	1990/06/15	なし	要	121	1995/03/05	○有	
67	1990/07/15	なし	要	122	1995/04/10	●有	要
68	1990/08/15	なし	要	123	1995/05/30	○有	
69	1990/10/09	なし	要	124	1995/06/10	○有	
70	1990/11/15	なし	要	125	1995/07/05	○有	
71	1990/12/05	なし	要	126	1995/08/20	○有	
72	1991/01/15	●有	要	127	1995/09/15	○有	
73	1991/02/15	●有	要	128	1995/10/15	○有	
74	1991/03/15	有		129	1995/11/15	○有	
75	1991/04/15	なし	要	130	1995/12/10	○有	
76	1991/05/15	なし	要	131	1996/01/10	○有	
77	1991/06/01	有		132	1996/02/	なし	要
78	1991/07/01	●有	要	133	1996/03/15	○有	
79	1991/08/01	●有	要	134	1996/04/10	○有	
80	1991/09/01	なし	要	135	1996/05/15	○有	
81	1991/10/01	なし	要	136	1996/06/15	○有	
82	1991/11/01	●有	要	137	1996/07/	なし	
83	1991/12/01	●有	要	138	1996/08/10	○有	
84	1992/01/01	●有	要	139	1996/09/20	○有	
85	1992/02/01	なし	要	140	1996/10/20	○有	
86	1992/03/01	●有	要	141	1996/11/15	○有	
87	1992/04/01	なし	要	142	1996/12/05	○有	
88	1992/05/01	なし	要	143	1997/01/15	●有	要
89	1992/06/01	●有	要	144	1997/02/15	●有	要
90	1992/07/01	●有	要	145	1997/03/05	●有	要
91	1992/09/02	●有	要	146	1997/04/15	●有	要
92	1992/10/01	●有	要	147	1997/05/15	有	
93	1992/10/15	●有	要	148	1997/06/15	有	
94	1992/11/24	●有	要	149	1997/07/15	有	
95	1992/12/08	●有	要	150	1997/08/15	有	

第6回京都支部委員会報告

1999年2月9日(火)同志社大学クローバーハウス(午後7時～8時40分)
出席:篠原、呑海、田北、井上、大館 欠席:竹本、中嶋

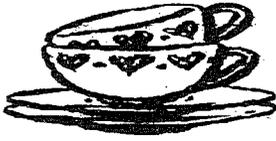
【報告事項】

1. 会員情報 現在の支部会員数95名(前回から1名増加)
2. 財政情報
 - ・1998年度会費納入者 80名(前回から2名増)
 - ・1997年度会費未納者 5名(前回から1名減)
 - ・1996年度会費未納者 1名(前回と同じ)
3. 近畿4支部合同例会(1月23日)
 - ・京都支部からの参加者 4名
 - ・兵庫支部から支部分担金を請求しないという連絡があった。
4. 日図協評議員選挙結果
大城善盛氏:15票 若井勉氏:11票 尾上氏:10票 齊藤氏:9票
5. MLゆりかもめ運用状況 ・登録者数 38名(2月9日現在)

【審議事項】

1. 3月例会について
 - ・日時:3月6日(土) 14:00-17:00
 - ・会場:京大会館 2F 211号室(50名収容可能)
30名:口の字型、40名:コの字型、50名:スクール型
参加者数の目標を40名とする。
最終人数及び座席数設定については数日前に連絡する
利用料は、午後・夜は8,000円
オーバーヘッドプロジェクター、スライドプロジェクター、ポータブルマイクの利用料は、各々、2,500-3,000円
 - ・懇親会の会場候補(「楽」「むつみ」「大文字」)
2. 研究集会について
 - ・前回委員会より具体化の進展なし。
 - ・時期:6月末
3. 支部報について
 - (1) 2月号について
 - ・近畿4支部新春合同例会感想(1月23日)/数珠つなぎ(京大 由本さん)
/支部報欠号状況
 - (2) 3月号について
 - ・インターネット活用術(2)(呑海さん)/数珠つなぎ
4. 支部報復刻版の発行について
 - ・支部報の収集状況があまりよくない。
 - ・現物欠号状況を支部報に公表し、所持している会員に一時貸与を依頼する。
5. その他
 - 1) 支部会員名簿の管理について
 - ・会員異動を即時に反映できるようにホームページに会員名簿を載せ、ID番号とパスワードでアクセスを制限する。
 - ・支部委員のみアクセスできるようにする。
 - 2) 30周年記念グッズについて
 - ・次回にアイデアを出す。
6. 次回支部委員会 1999年3月2日(火)

新連載小説 第15回



リ ュ ウ

西田 治

美穂が出て行って暫くすると淳一が帰ってきた。いつもは淳一が一番に帰ってくるのであるが、今日は車もあるし、玄関のドアの鍵もかかっていないので「あれ！」と彼は頭を傾げて入ってきた。台所の圭子となにやら話していた。それから私の部屋に入ってきた。

「お父さん。自転車の修理に行くのでお金ちょうだい！」

「お母さんに貰え！」と私は振り向きもせず即座に言った。

「お母さんが小さいのだから、お父さんに貰えって！」

「いくらだ」

「千四百円」

「なに！」

私は起きあがって言った。「なんでそんなにするんだ？」

「だって、両方パンクしてるんだ」

「なんで両方なんだ？」

「そんなこといったって、僕知らないよ。僕だって困ってるんだ」

淳一の答えはもっともだった。私の質問のバカさかげんに恥じらいを感じた。私はしぶしぶお金を渡した。もうこれで利益どころかマイナスである。

私はますます気が滅入ってしまった。

それで夕食もあまり進まなかった。淳一が「お父さん、どうしたの？」とそっと圭子に聞いた。圭子は笑顔で「あんたたちがお父さんのへそくり使ってしまったってしょげてるの」と言った。

「へえ、へそくりあったん。それでお父さんに貰えっていったの？」

「なに！ そうだったのか！」

私はむかつとした。

「いいじゃない。思わぬ収入だったんでしょ？可愛い子供のために使ったんだから」と圭子は平然としている。

美穂が急にガラガラと笑った。

「なにが可笑しい！」

私は思わず怒鳴ってしまった。

「だって、これ可笑しいの！」と「ホワッツマイケル」を読んでいる。

「お父さんも読む？」

「いらん！食事中に漫画なんか読むな！」

私は本を美穂から取り上げた。

食後、私はリュウを連れて散歩に出かけた。圭子は来なかった。彼女が散歩に付き合ったのは3日程である。疲れると言って止めてしまった。多少涼しくなったとはいえ、リュウと歩くとやはり汗だくになる。私は今日の事を考えていた。そもそも圭子に話したのが失敗だった。私はくやしかった。私だって意地ってものがあると思った。それで、今度は圭子にも内緒で今日行けなかった第一勧銀に明日行こうと決心した。(次号に続く)

| 戦慄の連載コーナー!!

● 京都大学エネルギー科学研究科図書室（現工学部図書掛）

● ゆもと けいこ

● 大図研京都数珠つなぎ 第35回

● 由本 慶子 さん

子供のおかげで

「エネルギー科学研究科図書の由本です」と自己紹介しますと、同じ京大内の方でもえっ!?!という顔をされる方がいらっしやいます。それもそのはず、去年10月に異動したところは、図書室がない独立研究科だったのです。

現在開室にむけ、利用者にはいろいろなサービスができるよう、また業務を円滑に進められるよう準備を進めているところですが、その忙しさを感じながらも、心の片隅で自分のことを図書館(室)という場所と図書館資料とそして利用者から切り離されて、糸の切れた凧みたいに、頼りなくふわふわと漂っている図書館職員だなと感じております。

その私の所属しております研究科は、図書室だけでなく、研究科としての独立した施設もありません。構成員も京都市内吉田にあるキャンパスだけでなく、宇治市内にある宇治キャンパス等広範囲に分散しており、いざ開室後の業務を考えますと物流をどうしてゆくかが大きな問題になっています。また、既存の資料の蓄積もなく、予算の限られている中、物理的に離れている構成員にどれだけのサービスができるかも大きな問題です。溢れている問題に、ついついため息をつきたくなるのですが、この状況で何ができるかを模索・実行していき、自前の図書室ができたことをアピールしていけたらいいなと思っています。

し・ご・との話は休題します。(長く書くつもりではなかったのですが、ついリキが入ってしまいます)家では小さい子供がいて、自分用の本はちっとも読む暇がありませんが、珍しいことに眠る前の本読みタイムだけは日課として続いているので、絵本だけは読む機会に恵まれています。黙読とは違い口に出して読みますと、ことばのリズムがこちよく感じられ、響きあって安眠すること請け合いです。子供は気に入った本は何度も何度も繰り返し読みたがります。大人の本だと飽きて苦痛になるところでしょうが、なぜか絵本だと何十回読んでもその都度新鮮なものも不思議です。上の子は小学校に入り、読む本もそれまでのいわゆる絵本から、「じがいっぱいあるほん」に移行しつつあります。私の子供の頃と比べますとおもしろい本もいっぱい増え、岡田淳さんの本など私が読みたいがために、子供に買い続けている本もあります。時代というより、私個人の環境が特殊だったのでしょうか、小さい頃は少年少女世界名作全集みたいな本しか周りになかったような気がします。ああいった全集も、たまにひもといてみたりしますと、子供の頃読んだのとは違う印象をいだいたり、違う箇所で感動したりするのも面白いです。根が無精で新規分野の開拓をめんどくさがるものですから、子供のおかげで読書分野が自然に広がってゆくことにとても感謝しています。これから子供が大きくなるにつれ、次はヤングアダルト本やファンタジー本と一緒に読めるのではと期待しているこの頃です。